調査レポート

チームのリアルな
課題と解決策

マネージャーの 人には言えないモヤモヤ を大調査

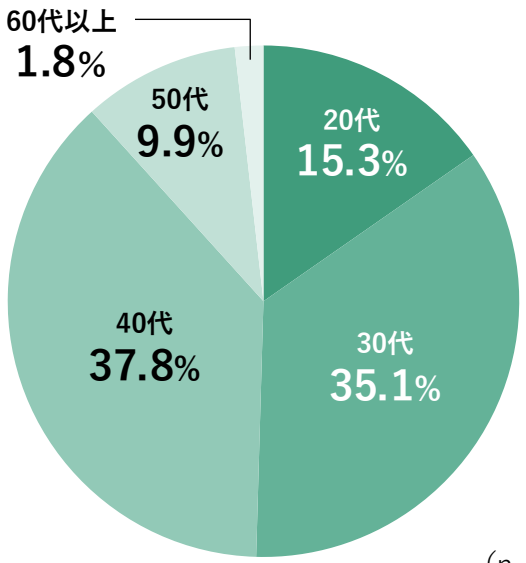


今回の調査概要

現代のマネージャーはどんな悩みを抱えているのか？

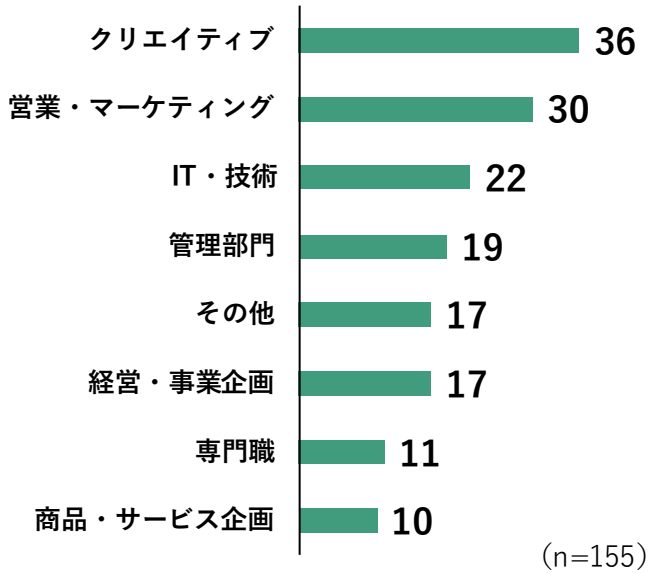
幅広い年代・職種・マネジメント人数を持つマネージャー層にアンケートを実施しました

年代



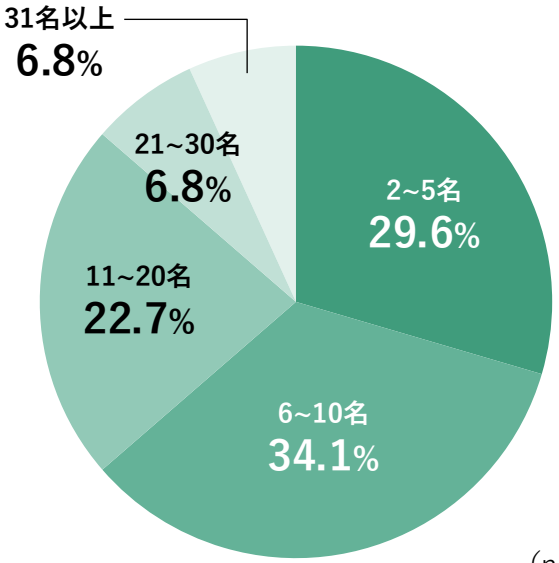
（n=111）

職種



（n=155）

マネジメント人数
（直属の部下のみ）



（n=44）

※ ライフハッカー読者へのアンケート調査（合計：155名　期間：2025年8月15日～9月3日）

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

アンケート結果

現代のマネージャーのリアルな悩み

部下が指示待ち・主体性が不足している

- 次自分自身でタスクを管理して考えて動いて！と言いたい
- 無理はしなくていいから、基本的なことは自ら責任を持って行動しよう！と思う…
- 自分の業務しかしない、イレギュラーな仕事が許容できないといった部下の柔軟性のなさがつらい

業務範囲が曖昧で偏りがある

- 誰もやりたくない仕事だけが残り、どこまでが私の業務なのかが曖昧すぎる…
- 承認が多く、状況もわからないので業務が何も進まない！
- プレイングマネージャーで、自分の仕事をやる時間がない。仕方なく朝こなしている…

コミュニケーションが分断されている

- 報・連・相、そこから教えなきゃだめなのか…
- 他部署との連携において、指示出しや確認のやりとりが多すぎて疲弊している…
- 「聞いていた話と違う」といった言った言わないのトラブルが頻発している



現場と上層部の認識がズレている

- 目的やゴールが違っている…
- 優先度の高い業務があるのに上司が把握しておらず、興味がある業務を優先させられる！
- 会社の決定で、まだ誰も欲しがっていないものを形にしなきゃいけない場面が多すぎる…

孤独かつ板挟みな環境がつらい

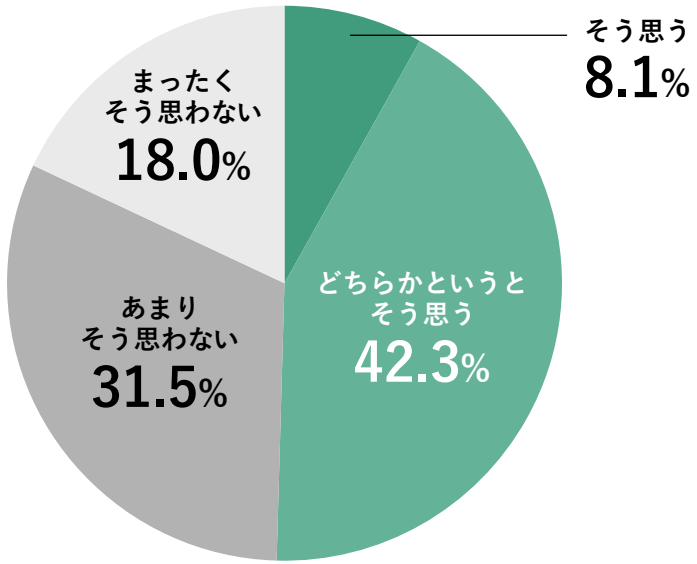
- 何か問題が起きても自分ごととして動いてくれるNo.2が欲しい、常に孤独で苦しい…
- 上司からは「辞めさせるな」と言われ、部下からは「辞めたい」と言われる状況で困る…
- マネジメントとプレイヤーを兼任しているのに、ゴール設定が常にボトムアップで疲弊する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

チームの課題 1　目的・目標の共有不足

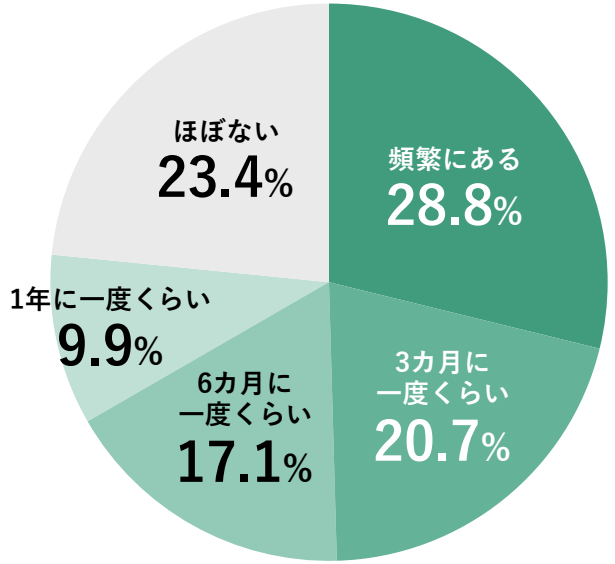
チームの目標を意識して仕事をしているメンバーは、全体の約半数にとどまっています
残り約半数は目標の浸透に課題を感じており、「目的・目標の共有不足」が明らかになりました

？ メンバーが「日々の作業」だけでなく、その先にある「チーム全体の目標」を意識して仕事をしていると感じますか？



（n=111）

？ 「目的（なぜやるのか、何を目指すか）」を話し合う機会はどれくらいありますか？



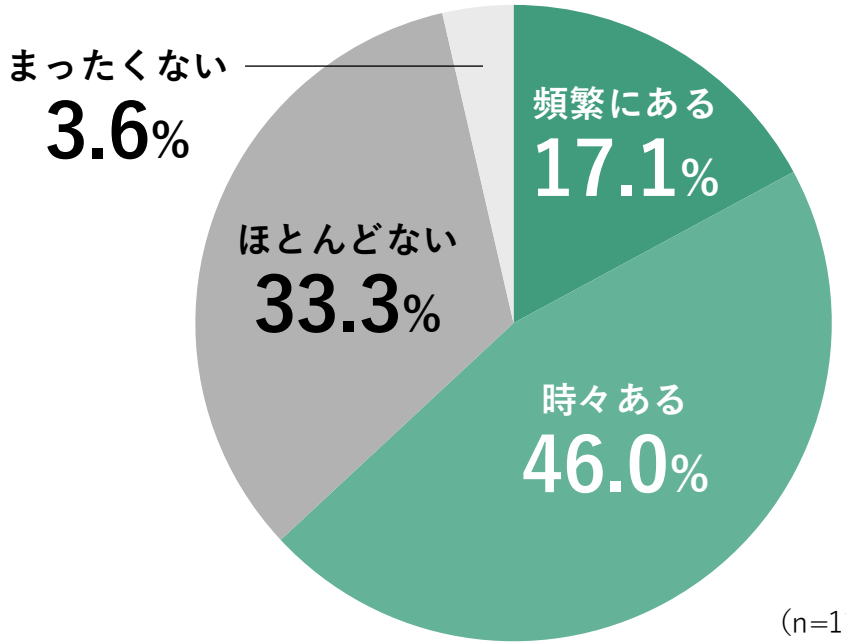
（n=111）

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

チームの課題 2　不明瞭な役割分担

役割の曖昧さが原因で、担当不明の業務が対応漏れになったことがあるチームは6割以上に上ります
責任の所在問題にとどまらず、業務の抜け漏れや生産性低下に繋がる重大な課題となっています

？「これは誰の仕事？」と担当が曖昧な業務が発生し、対応が漏れてしまうことはありますか？



（n=111）

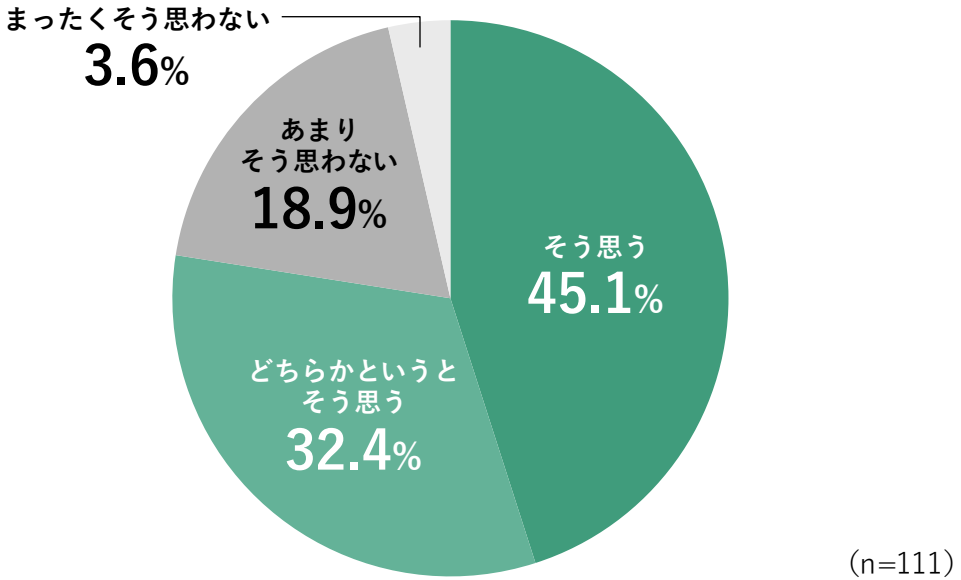


© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

チームの課題 3　主体性の不足

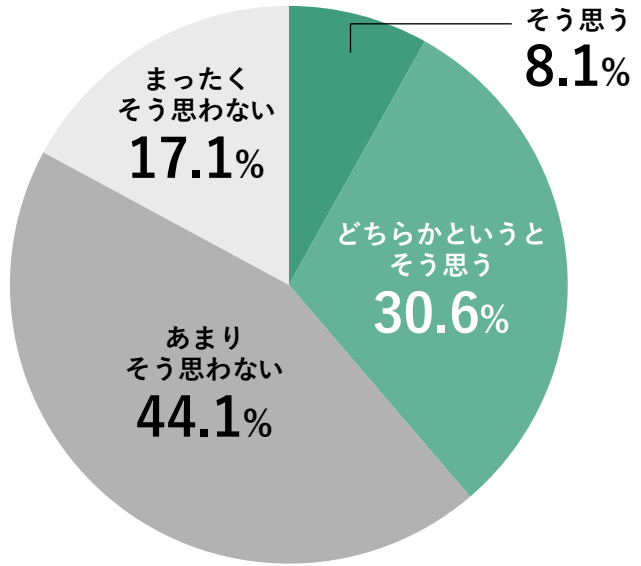
チームの主体性が一部のメンバーに偏り、全体に浸透していない現状が明らかになりました
主体的な行動や提案が一部のメンバーに偏っていることがチーム全体の課題となっています

？ 問題の解決や業務改善のために率先して動くのは、いつも特定のメンバーに限られていると感じますか？



（n=111）

？ 業務に関するやり取りの中で、メンバーから「もっとこうしたい」という主体的な工夫や提案が、自然と生まれてくることが多いですか？



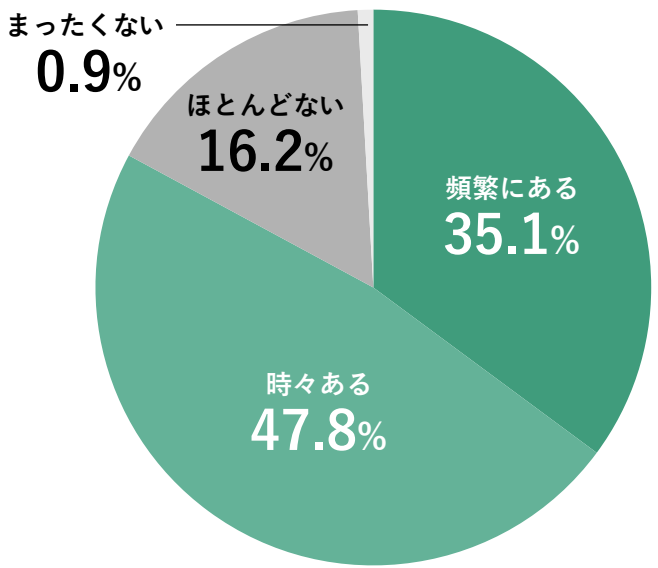
（n=111）

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

チームの課題 4　情報共有が非効率

チームの約8割が、資料や情報の探索に時間を要していることがわかりました
非効率な情報共有の習慣が、チーム全体の生産性を大きく引き下げる要因となっています

過去のやり取りや最新の資料を探すのに時間がかかったり、情報がどこにあるかわからなくなったりすることはありますか？



（n=111）

「これは非効率だな…」と感じる情報共有のルールや習慣があれば、具体的に教えてください

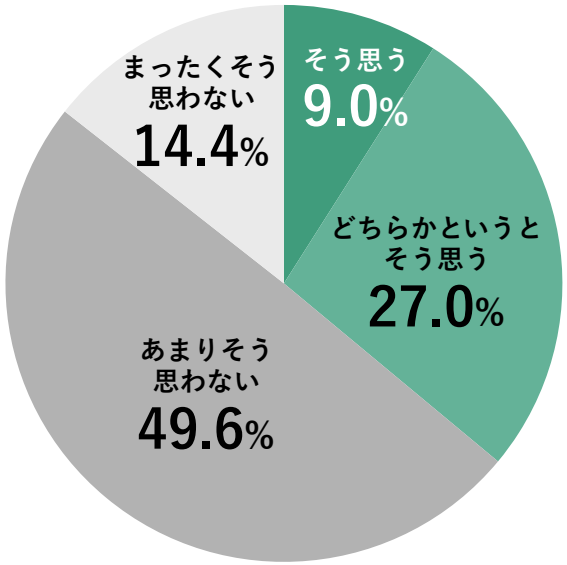
- 状況報告の週報の作成（読み手は幹部陣）
- 毎回特定の部署に聞きにいかないとアクセスできない資料があり、連携に苦労している
- ルールが不在のフォルダ類、多岐にわたるツール群
- 報告のためだけの定例会議
- 口頭で話すと『覚えていない』という上司がいる。メッセージアプリで残すと『見ていない』と言われるし、自分が何をやったか発表する会議
- 話しやすさ優先？で個別の会話やチャットで話が展開され、そのままその場で埋もれている。そこに入っていない社員が似たような事象が発生したときに検索しても、ヒットしない

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

チームの課題 5　コミュニケーション不足

6割以上のチームで自発的な発言が生まれにくいと感じていることがわかりました
業務の進捗や決定事項をオープンに記録する仕組みがないことも課題といえます

？ 会議では、誰かを指名しなくても自然と意見が出てきますか？



（n=111）

？ 立場や空気を気にして「本当は言いたかったけど、言えなくて後悔した」「もっと早く言って欲しかった」という経験があれば、教えてください。

- 部内に報・連・相が苦手な人が多く、やり取りが煩雑になっている
- 上司へのタスクのリマインドのタイミングを迷った
- その場ではOKで進んでいる業務が、あとになって上司から『ここはもっとこうだよ？』と覆ることがしばしばある。記録に残っていないので、仕方なく対応している
- 部下が一人で悩んで時間をかけたアウトプットが方向性と異なっており、もっと早く確認出ししてほしかった経験が何回もある
- 部下が独自の判断で迷走して進行し、事後で相談してくること。先に相談してほしい

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

5つの課題、その根本にあるもの

チームの中で「何が・どこで・どうなっているか」が見えていない

見えないから、情報を探すのに時間がかかる

見えないから、目標が浸透しない

見えないから、動く意味を見失う



見えないから、役割が曖昧になる

見えないから、
声を上げるタイミングを見失う

解決策は、仕組みで「見える化」すること

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogなら、タスク管理のお困りごとを全て解決

- 自律的な行動の促進
- 役割・責任の明確化
- 情報の蓄積共有の促進
- 目的・目標の明確化
- コミュニケーションの円滑化



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「Backlog」とは？

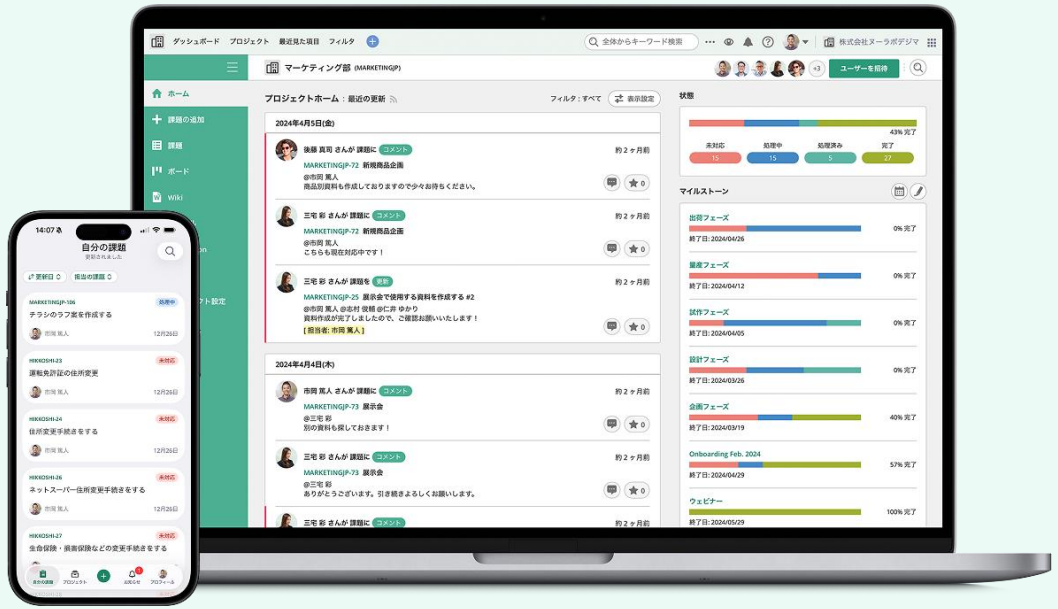
チームのタスクを可視化しコミュニケーションを促進する、
プロジェクト・タスク管理ツールです。

Backlogの特長

シンプルな操作性
直感的なインターフェースで誰でも簡単に使いこなせます

親しみやすいUI
使いやすさを重視した“仕事が楽しくなる”デザイン

チームで働くすべての人に
チーム全体の業務やタスクを可視化し、情報を一元管理できる多彩な機能



backlog by nulab

主な用途

- プロジェクト管理
- タスク管理
- バージョン管理
- ナレッジ共有

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogのご案内



まずは
体験してみませんか？

30日間無料で試す



Backlogがわかる！
資料3点セット公開中

ダウンロードする



オンラインセミナー
開催中

セミナーに申し込む



オンライン個別相談も
可能です

個別相談を予約する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年 3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.